

いよいよ師走！

12月になって、急に寒さが増してきました。クリスマスや正月の話題が始める中、学校では、これまで学習したことの復習をしたり、学期末テストで習熟度を測ったりなど、2学期の大詰めを迎えます。

一方、児童会では、5日から20日までの間、赤い羽根共同募金とユニセフ募金の活動を実施します。紛争や災害などで栄養不足や病気に苦しむ人々への支援、ハンディキャップをお持ちの方の社会参加支援など、「一人の力は小さくても、たくさんの人が手を差し伸べれば、大きな力になる」という考えのもと、取り組んでいきます。毎朝、運営委員会の子どもたちが玄関前に募金箱を持って立ちますので、皆様方のご支援をお願いします。さらに、1月16日からは「未投函の書き損じはがき」を回収し、NGOを通して、世界の子どもたちへのワクチン接種や地雷・不発弾除去活動に役立てたいと計画しております。



喜々津小人権月間・人権集会

日本では12月4日～10日を人権週間と定め（12/10は世界人権デー）、全国的に人権尊重の思想を広めていこうとしています。

本校では、一足早く11月を人権月間とし、みんなで取り組みました。代表委員会で今年の喜々津小人権宣言を考え、「いじめをなくし、思いやりを増やします。きよりはとるけど心のきよりは近くし、笑顔あふれる喜々津小学校にします。」という宣言文が掲げられました。

これをもとに、各学級でスローガンを決め、友達の良いところを書いて貼っていく「人権の木」作りや「人権標語」作りなどに取り組みました。また、総合的な学習の時間や道徳の授業の中で、障害のあるなしに関わらず、共に生きていくこと、差別やいじめをなくすことについても学びました。



そして、12月2日に、人権月間で学んだことや取り組んだことを発表し合う「人権集会」を開きました。各学級の発表には、差別をなくし、仲間を大切にしようとする言葉や行動目標が多く見られました。

後半は、全員で「お陽さまになって」を歌いました。

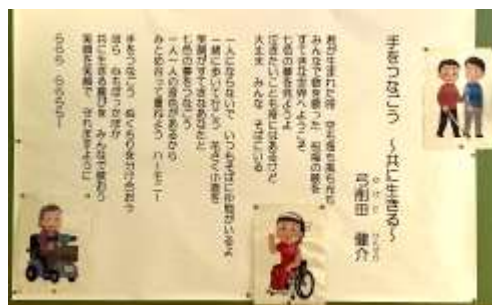
校長の私からは、4年生が手話をしながら歌った、「手をつなごう～共に生きる～」を作詞作曲した、弓削田健介（ゆげたけんすけ）さんを紹介しました。弓削田さんは、全国を旅

しながら「いのちと夢のコンサート」などの公演活動をし、子どもたちへ「いのちの尊さ、いろんな人との出会い、共に生きる喜び」などのメッセージを込めた楽曲を世に送り出しています。歌うことを通して、子どもたちが思いやりの心を高めてほしいと願っています。

また、心を温め、励みになる「ふわふわ言葉」の話をしました。これは「一秒の言葉」にも共通するもので、「ありがとう」、「すごいね」、「どうしたの」、「がんばって」な



ライフステーションたらみの方の講話





どの言葉を指します。反対に、人権を損ない、相手を傷つける「ちくちく言葉」の話もしました。

「ふわふわ言葉」を使うことで、人との関わり方は変わってきます。友達同士でかけあう「ふわふわ言葉」（一秒の言葉）で、「あたたかい喜々津小にしよう！」と呼びかけました。



大切なのはこの月間の取組だけでなく、それ以降の取組です。ご家庭でも、各学級が作った標語やあたたかいメッセージをお聞きになり、家庭ぐるみで取り組んでいただければと思います。

～メディアコントロールチャレンジ&家読～ ご協力ありがとうございました！

10月は、喜々津中のテスト期間に合わせて「メディアコントロールチャレンジ」、11月は「家読（うちどく）」を実施しました。

取組カードには、お子さんだけでなく、保護者の皆さんにも感想をたくさん書いていただきました。誠にありがとうございました。



2学期最後の授業参観・学級集会

先週にかけて実施した授業参観・学級集会では、たくさんの方にご出席いただき、ありがとうございました。いろいろな学習機会があった2学期ですが、振り返ってみて、子どもたち一人一人の学びや成長が見られたと思っています。

学級集会では、子どもたちの学習の様子や成長に加えて、冬休みの生活や今後の取組などについて懇談がなされたと思います。懇談の内容と重複するかもしれませんが、今後も以下のことを念頭に置いて、子どもたちを育てていきたいと思っています。

学力や生きる力を伸ばすために、

- ① 前向きに挑戦する態度
- ② あきらめずに粘り強く取り組む態度
- ③ 素直で正直な態度 が大切です。



学校では、子どもたちが輝ける場を作って、自己肯定感や他者尊重の心情を育てようとしています。このことが、子どもの挑戦意欲や粘り強さ、責任感にも通じるからです。

冬休みは、家庭での役割を果たす機会が多くなることや、新年を迎え心構えをリフレッシュする機会でもあります。ご家庭でもお子様の学力や生き抜く力を伸ばしていくために、3つの態度をより望ましい方向へ導いていただきたいと思います。

そのためには、「させてみる（機会をつくる）」、「できたら褒める」ことが大切です。どうぞよろしくお願いいたします。

ちょっと気になるフード

子どもが楽しく会話しながら通学路を歩いてくる姿は、微笑ましい光景であり、「今日も頑張るぞ！」と、エネルギーを充填する元にもなっています。

ところで、寒くなってくると気になることは、フードをかぶって登校する子どもがいることです。



フード自体は防寒の役に立つのですが、路上を歩くときは次のような危険性があります。

○後方や側面の音が聞こえづらくなる ○側面の視界が悪くなる

他校では、過去に通行人との衝突トラブルが発生していますので、家庭でも気を付けるようご指導ください。また、ポケットへ手を入れたまま登校していて、転んだ際に体を支えられず前歯を折ったという事例もありますので、あわせてご注意ください。